



税金

年末調整手続の電子化について

年末調整手続の電子化とは

これまでの年末調整では、従業員は保険会社から保険料控除証明を書面（ハガキ）で受け取り、それを基に手書きで保険料控除申告書を作成して書面で勤務先に提出するなど、年末調整の一連の手続きを書面で行っていました。

この一連の手続きが電子化されると、従業員は控除証明書を電子データで受け取り、当該データを電子化に対応した民間ソフトウェアや国税庁が提供する年末調整控除申告書作成用ソフトウェア（通称「年調ソフト」）に取り込むことで、各種控除申告書をデータ作成しメールなどで勤務先に提出することができるようになります。

なお、詳細については、国税庁ホームページの「年末調整手続の電子化に向けた取組について」をご覧ください。

電子化のメリット

- 勤務先のメリット
- ・保険料控除などの控除額の検算が不要
- ・控除証明書などのチェック業務が

削減（従業員が控除証明等データを利用した場合）

- ・従業員からの問い合わせが減少
- ・年末調整関係書類の保管コストが削減

○従業員のメリット

- ・控除額などの記入・手計算が不要
- ・控除証明などを紛失しても再交付依頼が不要
- ・勤務先からの問い合わせが減少

国税庁が提供する「年調ソフト」とは

国税庁では、控除証明書の電子データの取り込みから控除申告書のデータ作成に対応した「年調ソフト」を開発し、各アプリストアや国税庁ホームページで公開しています。

※現在お使いの給与計算ソフトなどへの取込機能については、お使いのソフト開発業者にご確認ください。

マイナポータル連携について

従業員が保険会社などから取得する控除証明等データについては、保険会社などのウェブサイトから入手する方法のほか、マイナポータルを通じて一括取得することができます（マイナポータル連携）。詳しくは国税庁ホームページの「マイナポータル連携特設ページ」をご覧ください。

国税庁ホームページ

<https://www.nta.go.jp>



国税庁ホームページ「年末調整手続の電子化に向けた取組について」
<https://www.nta.go.jp/users/gensen/go-jp/taxes/tetsuzuki/mynumbersinfo/mynapo.htm>



0158・23・2191

閏紋別税務署



社会福祉

訓練生募集について

「北海道障害者職業能力開発校」では、令和7年度の訓練生を募集します。

募集内容

- ①建築デザイン科
訓練期間 令和7年4月～（6か月）
 - ②CAD機械科
訓練期間 令和7年4月～（1年）
 - ③総合ビジネス科
訓練期間 令和7年4月～（1年）
 - ④プログラム設計科
訓練期間 令和7年4月～（2年）
- ①～④の対象者
身体障がい、精神障がい、発達障がいのある求職者

⑤総合実務科

訓練期間 令和7年4月～（1年）
対象者 知的障がいのある求職者
募集期間 10月1日（火）～21日（月）
選考日 11月5日（火）
選考場所 北海道障害者職業能力開発校（砂川市焼山六十番地）
選考方法 学力試験（国語、数学）、面接
問い合わせ先 ハローワーク紋別または北海道障害者職業能力開発校まで問い合わせください。

閏北海道障害者職業能力開発校

0125・52・2774
fax 0125・52・9177

無料相談会について

オホーツク相談センター「ふくろう」では、経済的に暮らしが成り立たないなどの困りごとをどうしたら解決できるか一緒に考えていきます。相談は無料、秘密は厳守します。

日程 令和6年10月23日（水）、11月20日（水）、12月18日（水）

令和7年1月22日（水）、2月19日（水）、3月19日（水）

時間 10時～15時

場所 役場庁舎別館 中会議室

利用方法 希望日の前日の12時までにご連絡ください。

閏オホーツク相談センターふくろう

（北見市美芳町5丁目2・13エムリンクビル2階 NPO法人ワークフェア）
0157・25・3110

上寿（100歳）おめでとう

上寿（100歳）を迎えられた國田ふさゑさんに、祝金と祝状の贈呈が行われました。

ご長寿おめでとうございます。



↑上寿を迎えた國田さん（右）

閏地域福祉課社会福祉係



保健

自殺予防週間について

厚生労働省では、毎年9月10日から16日を自殺予防週間と定めて普及活動を行っています。

令和5年に全国で自殺によって亡くなった人は、2万1千837人で、前年と比較し、0.2%減少しています。しかし、依然として2万人を超える人が自ら命を絶っており、深刻な状況が続いています。

自殺の背景にはこころの健康だ

けでなく、過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などさまざまな社会的要因があることが知られています。自殺はこうした悩みが原因で心理的に追い込まれた末の死であり、その多くが未然に防ぐことのできる社会的な問題です。



自殺の予防には、住民一人一人が自殺を考えるほど追い詰められている人に気づき、支え合うことが重要です。

紋別保健所では、保健師や専門医が、こころの健康に心配のある人、飲酒やアルコール問題、ギャンブル問題をお持ちの人の相談を受け付けています。心配のあるご本人だけではなく、ご家族や関係者の方も利用できますので、お気軽にご相談ください。

『自殺予防のための行動』3つのポイント（自殺総合対策大綱より）

●気づき

周りの人の悩みに気づき、耳を傾けましょう。
・家族や仲間の変化に敏感になり、じっくりと話を聞く場を持つて相手の気持ちを尊重し、共感しましょう。

●つなぎ

早めに専門家に相談するよう促しましょう。
・心の病気の兆候があれば、本人の置かれている状況や気持ちを理解してくれる家族、友人、上司といったキーパーソンと連携して、専門家への相談につなげましょう。

●見守り

あたたかく寄り添いながら、じっくりと見守りましょう。
・自然に対応するとともに、身体や心の健康状態について配慮し、優しく見守りましょう。
・必要に応じ、家族と連携をとり、主治医に情報を提供しましょう。

閏紋別保健所健康推進課健康支援係

0158・23・3108

結核予防週間について

厚生労働省では、毎年9月24日から30日までを結核予防週間と定めて普及活動を行っています。

結核は現在も、日本で毎年約1万人が新たに発症しており、「過去の病気」ではありません。

また、新たに結核を発症する人の半数以上が70歳以上となっております。これは、若いときに結核に感染し、発症が抑えられていたものの、高齢になって免疫力が落ちたことが

ら発症すると考えられます。

結核はどんな病気？

結核は結核菌によって主に肺に炎症を起こす感染症です。症状は、せき、たん、発熱、倦怠感などで風邪と似ています。「結核かな？」と思ったら、医療機関を受診しましょう。また、せきがある人はマスクをつけて、周りの人に感染を広げないように心がけましょう。定期的に健診（胸部レントゲン検査）を受けることも、早期に結核を発見するのに有効です。

こんなときは病院へ

せきが2週間以上続く、たんが出る、急に体重が減る、からだがだるい

発見されにくい高齢者の結核

65歳以上の人は、年に1回胸部レントゲン検査を受けましょう。
また、健診などで胸部レントゲン検査の精密検査が必要となった場合は、自覚症状がなくても必ず受診しましょう。

咳・たんなど目立った症状があらわれにくいのが、高齢者の結核の特徴です。食欲がない・元気がない・体重が減る・微熱などの症状しか出ない場合がありますので、日頃から健康状態に注意しましょう。

閏紋別保健所健康推進課

健康支援係・保健係

0158・23・3108